

Winning Presentations

Akira Morita

Shinichi Harada

Kazuma Kitamura

Sayaka Sugimoto

Bill Benfield

S SEIBIDO

photographs by
istockphoto

StreamLine

Web 動画・音声ファイルのストリーミング再生について

CD マーク及び Web 動画マークがある箇所は、PC、スマートフォン、タブレット端末において、無料でストリーミング再生することができます。下記 URL よりご利用ください。再生手順や動作環境などは本書巻末の「Web 動画のご案内」をご覧ください。

<http://st.seibido.co.jp>



音声ファイルのダウンロードについて

CD マークがある箇所は、ダウンロードすることも可能です。下記 URL より書籍を検索し、書籍詳細ページにあるダウンロードアイコンをクリックしてください。

<https://www.seibido.co.jp>



Winning Presentations

Copyright © 2018 by Akira Morita, Shinichi Harada, Kazuma Kitamura,
Sayaka Sugimoto, Bill Benfield

*All rights reserved for Japan.
No part of this book may be reproduced in any form
without permission from Seibido Co., Ltd.*

はじめに

本書 *Winning Presentations* は、初めて英語によるプレゼンテーションを行う学習者も、またプレゼンテーションの概要は知っているが、さらにさまざまな場面や内容でプレゼンテーションを行いたいと思っている学習者にも適した教材です。その主な特徴は以下の通りです。

- a. コミュニケーションのツールとしてのプレゼンテーションの基本が正確に理解できる。
- b. 報告型、提案型、それぞれ4つ、計8つの目的に合わせたプレゼンテーションのタイプを的確に使えるようになる。
- c. Native speaker による Model Presentation が8つのタイプすべてにあり、プレゼンテーションの実践と評価の目安が提示されている。
- d. きちんとした原稿を作成することによって、Writing の技能も同時に伸ばすことができる。
- e. 学習を終えた後にも、必要な時に参照できる工夫がなされている。

プレゼンテーションは、自分の考えや主張を効率よく正確に相手に伝えるために、特に20世紀終わりから注目され発展してきたコミュニケーションのツールです。その目的をかなえるため、発表者とオーディエンス（聴衆）が構造を共有し、短時間の発表でも誤解を生まない工夫（しかけ）がされています。

その工夫とは、プレゼンテーションの構造や表現なのですが、そうした工夫の数々をタスクを通じて身に着け、合わせて英語の論理構成を学びながら説得力のあるプレゼンテーションを行うことを本書は可能にしています。

学生諸君には、プレゼンテーションとは派手な身振り手振りを演技的に行うことではないこと、そして、もしそう見えたとするなら、それはしっかりした根拠に基づく自信から生まれたものなのだ、ということをこの教材を通じて理解し実践してくれることを切に希望しています。

最後になりましたが、本企画を提案され、実行に導いてくださった（株）成美堂の佐野英一郎社長の力強いご支援に感謝します。また、多くの的確なアドバイスをくださった編集の工藤隆志さんにも改めて感謝いたします。

2017 年盛夏
著者一同

本書の使い方

Winning Presentations は、本書（教科書）と Model Presentation の映像とを有機的に連動させて学習します。以下に、各 Part とタスクの概要、また学習のヒントを掲載しますので、参考にしてください。

Part I : Basic Knowledge for Presentations

Part I では、口頭によるコミュニケーションのツール「プレゼンテーション」の定義、構造、そして基本的スキル、さらにプレゼンテーションに不可欠な根拠の提示とその際に守らなければならないこと（引用の方法など）について学びます。プレゼンテーションは、人前での「おしゃべり」ではありません。この Part の各タスクは、Unit の狙いによって違うものがありますが、Unit 3、Unit 4 になると、プレゼンテーションの準備にあたって重要な語句を学ぶ Vocabulary Check、その内容を理解する Reading Comprehension があります。用語に慣れながら、英語によるプレゼンテーションを行う意識を高めていきましょう。

Part II : Informative Presentations

Part II では、情報を整理し、オーディエンスに正確にかつ効率よく「報告」するために適した4つの違ったタイプのプレゼンテーションの構造と表現を学びます。各タスクに沿って相違点と共通点を学んでください。Unit 8 までのタスクの要点は以下のようになります。

1 Vocabulary Check

次の Model Presentation で扱う語句についてのチェックです。英語の感覚を磨くために、英語による定義が示されています。また、別表現への言い換えの部分もありますから、それらの表現は、特に注意して学びましょう。

2 Model Presentation

この教材の要です。Native speaker が行っているプレゼンテーションの映像を見ながら、プレゼンテーションの構造や、それぞれのタイプにとって重要な表現を聞き取りの形で学んでいきます。単に聞き取るだけでなく、発音で強調されている語句や表現、間の取り方、さらに発表者の表情や身振りなど、プレゼンテーションの全体のモデルにもしてください。

Comprehension Check で、内容が正しく聞き取れたかも確認できます。オーディエンスとして、きちんと聞いてください。また、設問の該当箇所が、身振りなども含めプレゼンテーションのどの部分で、どのように語られていたかもチェックしましょう。

3 Presentation Structure

Model Presentation の内容をより良く理解するために、それぞれのタイプ毎の構造を視覚的に学びます。このセクションは、自分がプレゼンテーションを行うための準備でもあります。また、後日、同じような内容のプレゼンテーションを行うことになった時の振り返りにも役立つものでしょう。プレゼンテーションの正しい分析は、正しい理解につながります。

4 Language Focus (Unit 5, 6, 8)

学んだ表現を、別のトピックに合わせて使ってみます。学んでいるタイプでどのような表現がカギになるのか、また、別の Unit とはどこが共通点で、どこが相違点なのかを理解しましょう。

5 Mini Presentation

各 Unit で学んだことの定着と、Unit 9 で行う長めのプレゼンテーションの準備のため、別のトピックで最初から簡単なプレゼンテーションの原稿を作ります。Tool Box を上手に使いましょう。出来上がった原稿は、チェックのあと、提出する場合があります。Paragraph Writing の練習にもなります。

Review Unit (Unit 9)

この Unit では、Model Presentation を意識した 3 分から 5 分程度の長めのプレゼンテーションを作成します。タスクに従って、準備、チェックを行い、総まとめのプレゼンテーションを行います。また、ほかの学生のプレゼンテーションを評価する活動も行います。

Part III : Persuasive Presentations

Part III では、Part II で学んだ「報告型のプレゼンテーション」を発展させた「説得型・提案型」のプレゼンテーションのタイプ 4 つを学んでいきます。各 Unit の構成は基本的に同じですが、この Part III は、Part II が基本になっていることを忘れないでください。その上で、2 つの Part の共通点と相違点をしっかりと学んでください。そうすれば、ここで学ぶ多くを改めて「報告型プレゼンテーション」を行うときにも使うことができるでしょう。

Review Unit (Unit 14)

Part II の Unit 9 と同じく、Mini Presentation を発展させ、ここでも 3 分から 5 分程度のプレゼンテーションを行います。自己評価、他のプレゼンテーションの評価でも、提案部分を評価する項目が付け加わっている点に注意し、プレゼンテーションを行うときも、それらの評価点を意識しましょう。

コラム

本書には、8 つのコラムがあります。どれも、プレゼンテーションにとって重要な事柄が、分かりやすく解説されていますから、必ず読んでください。

Mini Presentation Submission Paper

巻末に、Mini Presentation の原稿提出用の用紙があります。Mini Presentation の原稿を提出する際には、用意されたチェック項目を確認した後、きちんと清書して提出しましょう。

CONTENTS

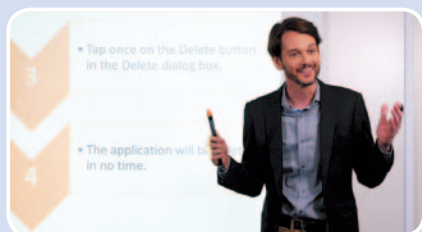
はじめに	3
本書の使い方	4

Part I : Basic Knowledge for Presentations

UNIT 1	Presentation Structure	9
	プレゼンテーションの構造	
UNIT 2	Presentation Skills	13
	プレゼンテーションのスキル	
UNIT 3	Preparing for Your Presentation	19
	情報収集と情報倫理	
UNIT 4	How to Arrange a Presentation Setting	25
	プレゼンテーション環境の準備	

Part II : Informative Presentations

UNIT 5	Type 1: Listing	31
	列挙型プレゼンテーション	
	● Model Presentation Topic: 新しい言語を学ぶ 3 つのコツ	
UNIT 6	Type 2: Classification	37
	分類型プレゼンテーション	
	● Model Presentation Topic: コンピュータの種類と特徴	
UNIT 7	Type 3: Process	43
	プロセス型プレゼンテーション	
	● Model Presentation Topic: アプリのダウンロード方法	
UNIT 8	Type 4: Investigation	49
	調査型プレゼンテーション	
	● Model Presentation Topic: 学内調査報告	



UNIT 9**Review Unit: Giving Your Presentation 55**
報告型プレゼンテーションの実践**Part III : Persuasive Presentations****UNIT 10****Type 5: Persuasion 61**
説得型プレゼンテーション

- Model Presentation Topic: 新キャンパスの利点

UNIT 11**Type 6: Problem and Solution 67**
問題解決型プレゼンテーション

- Model Presentation Topic: 交通渋滞の問題点と解決策

UNIT 12**Type 7: Cause and Effect 73**
原因・結果型プレゼンテーション

- Model Presentation Topic: 睡眠不足の原因と結果

UNIT 13**Type 8: Comparison and Contrast 79**
比較対照型プレゼンテーション

- Model Presentation Topic: 日本語語彙学習に有効な 2 冊の本

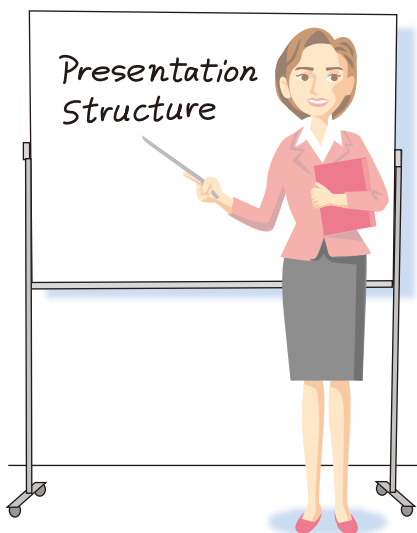
UNIT 14**Review Unit: Giving Your Proposal Presentation ... 85**
説得型・提案型プレゼンテーションの実践**Appendix****Mini Presentation Submission Paper 91****Column List**

図の種類.....	36	質疑応答の表現.....	66
図の説明.....	42	折れ線グラフ：増減の表現.....	72
参照・引用の表現.....	48	円グラフ：割合・順序の表現.....	78
数字の表現.....	54	棒グラフ：比較の表現.....	84



Presentation Structure

プレゼンテーションの構造



プレゼンテーションには、構造（structure）があります。構造物には、目的があり、その目的をかなえるために、決まった要素・部分とその要素の配置のルールがあります。椅子や机、建物が同じような形をしているのも、そのためです。このUnit では、聴衆／オーディエンス（audience）に正しく効率的に伝えるためにプレゼンテーションが持っている基本的構造を学びます。プレゼンテーションは、構造を持つ点で、単なる「おしゃべり」とは違います。

1 What is Presentation?

プレゼンテーションって何？

以下にプレゼンテーションについてのいくつかの質問をします。ペアやグループになって考え、発表し合ってみましょう。

Question 1 プレゼンテーションの目的は何か？

Question 2 判りやすいプレゼンテーションはどう作れば良いのか？

Question 3 プレゼンテーションは誰のためにするのか？

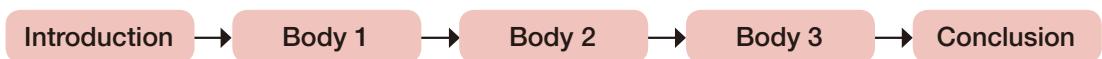
プレゼンテーションの目的には、さまざまなものが考えられます。おそらく皆さんが共通に思いついたのが、「自分の考えたことを正確に効率よく相手／オーディエンスに伝える」ということだと思いますが、どうだったでしょう。

そこで、この目的をかなえるために、判りやすいプレゼンテーションを作らねばなりません。皆さんの答えの中には、「大きな声で伝える」「パワーポイントなどを活用する」「説得力のあるデータを提示する」などがあつたかも知れません。

Q3 の答えは、実は簡単です。発表者（presenter）のためにするのです。発表者が、オーディエンスに自分の考えを知ってもらい、提案をかなえる手段がプレゼンテーションなのです。この教材で、説得力のある判りやすいプレゼンテーションの基本を学んでください。

2 The Basic Structure of a Presentation

判りやすいプレゼンのための基本構造とは？



The Basic Structure of a Presentation

判りやすいプレゼンテーションのためには、発表者とオーディエンスの双方にその構造が共有されていることが大切です。上の図がその基本構造です。

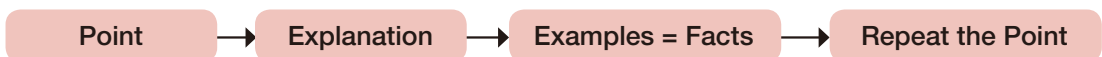
Introduction

ここでは、主に次の4つが行われます。

1. 挨拶 (greetings)
2. トピックあるいはテーマの導入 (introducing the topic)
3. 発表者の主張・結論の提示 → 最も言いたいこと (main idea)
4. 展開の提示 (mapping the presentation)

Body

ここでは、Introduction で示した主張を支持する根拠 (evidence) を示していきます。Body は3つが基本です。長めのプレゼンテーションではもう一度 Point を述べます。



Body も、プレゼンテーション全体と同じ構造を持っています。このセクションで、まず何を扱うかを述べて、次に比較的一般的なことばでそれを説明し、続いて例や数字を出します。

My birthday party this year was terrible.	(Point)
None of my best friends came to the party.	(Explanation)
Sam, Chris, and even Jo didn't come.	(Examples)
That was my worst event ever.	(Repeat the Point)

Conclusion

ここでは、今まで述べてきたことを、もう一度簡単にまとめて述べます。してはいけないことは、最も言いたかったことを初めてここで言うことです。ただし Unit 8 など、タイプによって内容が異なる場合もあります。訳語は「結論」ですが、多くは今までの振り返り、まとめの部分です。

3 Find the Structure



以下のプレゼンテーションの内容を聞き、() に適語を補いましょう。Body 部分で挙げられている Point に下線を引いてみましょう。

Good morning, ladies and gentlemen. My name is Sam Taylor. Thank you for coming this morning. I would like to talk about energy trends in China—specifically, the decline in the use of coal, the growth of renewable energy sources, and investment in renewable energy.

First, let's ¹() () () at coal. As you may know, China is the world's largest producer and consumer of coal. On this slide, you will see that in 2014, China generated 72 percent of its domestic electricity using coal. But this next slide shows that China's use of coal in electricity generation is projected to fall to 52 percent in 2040.

²(), let's look at the growth in renewable energy. China's renewable energy sector is growing faster than its capacity in fossil fuels. For example, this slide shows that between 2002 and 2012, production of solar cells in China increased nearly 100 times.

Third, I'll focus on China's investment in renewable energy. This slide shows that in 2015, the country spent more on renewable energy than any other country in the world, investing more than \$100 billion. And that ³() represents an increase of over \$90 billion from ten years previously.

⁴() () (), we can clearly see that although China is still a heavy user of coal, it is making rapid advances in adopting alternative energy sources and, at the same time, making large-scale investments in renewable energy.

4 Signal the Structure

次の表は、the Basic Structure of a Presentation を、そこで使われる表現に着目してもうすこし細かく区分したものです。下の選択肢は、それぞれどの箇所に相応しいでしょうか。切れ目を考えながら、配置してみましょう。

Introduction	① Greeting and introducing yourself	
	② Introducing the topic	
	③ Mapping the talk	
Body	④ Progressing through the presentation	
	⑤ Giving examples, figures	
Conclusion	⑥ Summarizing	
	⑦ Finishing the talk	
	⑧ Inviting questions	

- a. Good morning, ladies and gentlemen.
- b. I am ... / My name is ...
- c. It's nice to see you so many of you today.
- d. We are going to talk about ... / to compare ...
- e. Our talk is divided into _____ parts. / I'm going to cover _____ points ...
- f. If you have any questions, we will do our best to answer them later.
- g. We will start with ... / I'd like to start by -ing,
- h. Now we will move on to ... / Let's move on to my next point.
- i. To give you an example, / Let's look now at (this table) ... / According to ... / These _____ shows (that)
- j. In conclusion, / To sum up, / Finally, let me remind you of some of the issues we have covered.
- k. Thank you very much for your attention.
- l. Are there any questions?